

東京れぽと

発行
東京の
うたごえ協議会
TEL:
03-3200-4977
Fax:
03-6801-7399
Email: touukyou
@max.odn.ne.jp
URL: https://tou
ukyou.ciao.jp

東京総会での記念講演

憲法情勢について皆さんと一緒に考える、 そんな時間をいただいたということ

東京慈恵会医科大学名誉教授で憲法研究者でもあります小沢隆一さんの講演

石破政権が昨年誕生したが、10月の総選挙で少数与党になり今四苦八苦している。あげくに10万円を十五人にばらまき何やつてんだ。と皆さんも思っているが、本当に困った状況です。

石破茂氏の政治的 立場や経歴

石破さんは非常に危険な憲法とそれと安全保障についての考え方を持っている人です。また、二世議員であり、田中角栄氏の影響を受けたものの、独自の安全保障政策を推進する政治家として知られています。特に、防衛・軍



小沢さん

事に関する強いこだわりがあり、安全保障基本法の制定を目指しています。

また、自民党内での立ち位置としては、安倍政権下では孤立することが多

す。

国内外の音楽、音楽家に精通されているお二人の

うたごえ新聞創刊70周年記念レセプション

か」執筆の作曲家池辺晋一郎氏と朝日新聞編集委員・吉田純子さんの対談で

お話は、今からとても興味深く楽しみです。

開幕演奏

「生きてゆくために」

「人間の歌」

指揮：服部康宏さん

伴奏：澤瀉雅子さん

当日16:30から合唱

合わせを行います。

日本の安全保障政策

く、改憲に関しても独自の視点を持っており、自衛隊を「国防軍」と明確に位置付けるべきだと主張しています。石破さんは安倍晋三さんとは異なるアプローチを採りながらも、最終的に自民党の方針を継続する形で首相に就任しました。しかし、総裁選直前に「アジア版NATO構想」を示したことが注目を集めました。

日本の安保条約は、NATOのような相互防衛の仕組みではなく、日本と日本国内の米軍基地を守るためのものであり、アメリカ本土が攻撃された場合に日本が防衛に参加する仕組みにはなっていない。さらに、石破さんの「アジア版NATO構想」は



集中して講演を聴く皆さん

アメリカ側に歓迎されませんでした。しかし、2015年の安保法制により、日本は「存立危機事態」の場合アメリカの防衛にも関与できるようになりましたが、その定義は曖昧であり、拡大解釈の可能性があります。

石破さんは、こうした制約を超え、日本がアメリカを直接守る軍事同盟を築くべきだと主張し、アメリカ本土での自衛隊活動やグアム常駐を提案しています。そのために、自衛隊員の海外駐留を可能にするため、新たな地位協定の必要性を訴えています。

彼の言う地位協定改定論は、ごまかされちゃいけない。日本国内や沖縄の基地問題の解決策ではなく、むしろ日本の軍

学習能力や実行力は？

事的関与を強化するため自衛隊がアメリカに出ていくための地位協定が目的です。

学会会議の会員任命拒否問題に関する彼の姿勢が議論の対象となっています。彼はかつて情報公開の必要性を訴えていましたが、首相としてはその立場を明確にせず、国会質疑でも曖昧な答弁を行っています。

さらに、彼の政治スタイルとして原則論を語るものの、具体的な政策実行力には疑問が残る。特に、安全保障や軍事政策については熱心に取り組むものの、それ以外の分野については深く考えていない様に見えます。

日本政治を振り返る

この30年間の日本政治を振り返ると、「9の年」と「4の年」に重要な出来事が起こりやすく、5年ごとの周期で因果関係や変化が見られます。特に小選挙区制の導入が政治

※ 6ページに続く

調布狛江合唱団

調布狛江合唱団は2024年に創立60周年を迎え、地域とつながる演奏会を成功させました。60周年記念演奏会では「Peace be with you」や「群青」を地域の人々と共に歌い、合唱部で5名、郷土部で5名合計10名の新しい仲間も増えました。



平井さん

敗戦80年の節目にあたり、平和への取り組みを継続しており、毎月の市民行動や核兵器禁止条約批准国73ヶ国の国旗作成とそれを掲げての平和と音楽を地域に根付かせ活動を行っています。

一方で、財政的に厳しい方の参加が問題となっており、誰もが気軽に参加できる合唱の場を広げる方法について考える必要がある。ワンコインでの練習参加などの工夫をしているものの、より多

くの人が音楽を楽しめる環境づくりのために、皆さんの協力とアイデアを求めています。

港新婦人
コスモスコーラス

港新婦人コスモスコーラスは2025年度の活動方針の、①共に歌う輪を広げること②創作曲を広めることの活動を報告します。2月24日には特別企画として「広島愛の川」を歌う合唱団の練習があり、うたごえ新聞の告知を通じて新たな参加者を迎えました。練習には総勢56名が参加し、うち17名は子どもでした。引き続き男性の参加者を募集しています。



伊藤さん

また、学芸大アカペラサークルを招いた特別企画が決定しており、現役学生による若さあふれる演奏が楽しめる。7月5日のコンサートは歌の輪を広げ、創作曲の重要性を伝える機会となる予定です。

で、皆様の参加を呼びかけます。

JAL協議団合唱団
フエニックス

必要のない解雇が横行されて15年目になりますけれど、昨年の本社前の行動では150本の旗を立てていただいた。錦糸町での毎月の宣伝活動など、皆さんの協力によって活動が継続されてきたことに感謝します。



近村さん

また、日本航空で最近発生した航空事故が安全面への懸念を深めており、問題解決が安全確保につながると思います。

4月25日に現状を伝える場として、歌を交え労働組合の方と共に「勝利へのトランジットコンサート」を計画しており、この問題の早期解決に向けて意思を固める機会にします。一枚100円の協力券購入を含む協力と支援を

お願いします。

多摩新婦人コーラス
紙ふうせん

多摩新婦人コーラス紙ふうせんは地域の多摩市合唱祭に参加するとともに、厚生荘病院で解雇された12名の撤回を求める運動を支援しています。



山本さん(右)と田上さん(左)

その中で「病院は地域の灯台」という歌を大熊さんが作曲し、支援の集いで歌うことで連帯を示しています。また、平和行進の前には公園で「うたごえ集会」を開催し、より多くの地域の人々とともに歌う活動を続けています。

さらに、春と秋には「歌う会」を開催しており、若い人々の参加も募っている。現在40代の若いメンバーが少ないため、

若い力を歓迎しながら活動を広げることを目指しています。

絹の道合唱団

2024年度、絹の道合唱団は定期演奏会を開催しました。他団体との連携を深め、充実した活動を展開しました。三多摩青年合唱団の演奏会への参加をはじめ、福島チャリティコンサートや日野九条の会平和コンサート、八王子平和を愛する文化祭など、幅広い場で歌声を届けています。また、毎月の「No War王子アクション」でも演奏を続け、うたごえの存在を示しています。



絹の道と三多摩青年合唱団

三多摩うたごえ協議会としては、砂川闘争70周

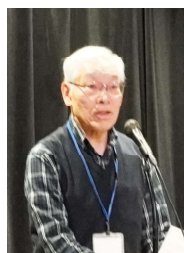
年の集いに参加し、合同演奏の機会を広げています。さらに、三多摩青年合唱団との合同演奏会の準備を進めており、議論を重ねながら創造的な取り組みに挑戦しています。合同演奏会は10月25日に開催予定で、その前の5月3日には東京カンタートにも参加し、多様なジャンルの合唱を通じて交流を図ります。

西南コーラス

昨年10月1日、第67回電通のうたごえ祭典で東京が開催され、目標を超える約400名の参加者を迎え、大成功を収めました。この祭典は最後の開催となったが、電通のうたごえの活動は終わるわけではなく、SNSを活用した交流を続けながら全国の仲間とともに運動を継続しています。東京の電通のサークルは東京ナイスミディ合唱団、コールシャマイクル、西南コーラス、合唱団明日をひらく風の4団体で構成され、地域ごとのうたごえ運動にも参加しています。

3月13日にはJMTU通

信労組の春闘集会で約80名が集まり、大手町でアコーディオンを交えながら歌声を響かせました。今後は関東のサークルとも連携を深めながら、活動を発展させていく計画。



北出さん

また、元西南コーラスのメンバーである外山靖雄について、彼の音楽人生60年を記念したコンサートが昨年12月に開催されました。病床でも最後まで歌い続けた外山氏の姿が感動を呼び、2月に逝去した際、告別式で「歌って愛して」と「花を贈ろう」を献奏し、彼を偲びました。

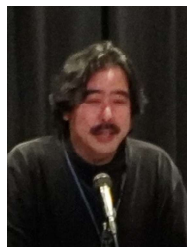
男声合唱団

うでまくら

長年交流のあった外山さんも含め、多くの先輩たちが旅立っていくことに寂しさを感じています。また、先日開催された2025年度日本のうたごえ全国協議会総会において、

うでまくららの団員であり不当分限免職撤回を求めて闘う原口朋哉さんを新宿のうたごえ連絡会の協力によりカンパを集め代議員として送り出すことができ、全国税の労働組合にも支援資金を渡すことができありがたかった。

壮年・中年世代の賃金の停滞と社会的取り残され感に焦点を当て、若年層の賃上げが進む一方で、40代・50代の「ロストジェネレーション」とも言われる世代が経済的に厳しい状況にあり、現役世代がうたごえ運動に参加しづらい背景には低賃金や長時間労働があります。



大熊さん

労働者の闘いにこそ”うたごえ”を届けるべきと考え、全国協議会総会で方針提案しました。東京の議案書では職場のうたごえの重要性に言及しており、具体的な団体名ではなく「戦うものという労働組合」という表現を提案します。また、懇談

ではなく、現場に足を運び、実際に歌い広げることとを強く呼びかける必要性があります。

さらに、原口さん自身が舌を挫えながら闘っていることを踏まえ、活動方針や総括に障害者のうたごえ項目がないが、うたごえ運動に必要なのは祭典時だけではなく、日常の活動に障害者との連帯を組み込むことが重要です。

東部のうたごえ協議会

東部うたごえ協議会は毎月運営委員会を開催し、約20名の仲間が各サークルから参加しています。

音楽イベントの要員協力や合同合唱の取り組みなど、サークル間の交流を大切にしており、これが温かい連携につながっています。また、東部の情報共有LINEを設立して3年が経ち、各サークルが集会での演奏活動を積極的に行うようになり、以前と比べて活動の広がりを実感しています。2月10日に第6回総会を開催し、28名が参加。

活動報告や交流が行われました。3月1日には「未来を拓くうたごえの集い」を開催し、被団協の皆さんの被爆証言を聞き、平和の歌を歌い交わす企画を実施し予想を超える102名が参加し、意義深い集いとなりました。



佐宗さん

さらに、東部うたごえ協議会は「二一争議支援にも長年関わり、毎月錦糸町での宣伝活動に参加し続けています。4月25日に勝利を目指すトランジストコンサート・「二一争議支援大集会開催にあたり、東部でも練習会の開催を決定し、4月2日18時15分〜20時30分に曳舟文化センターで練習会を行う予定。多くの人とステージで共に応援できるように参加を呼びかけています。

東京紫金草合唱団

私たちは3月25日から5日間、中国の南京に行つてコンサートを開きます。

これが200年から始まり、今度13次海外公演ということになります。

今、日中関係も色々問題があるけれども、なんとか交流していきたいと思っています。向こうでは小学生60人と一緒に共同でコンサートを開くこと、日本語を学ぶ高校生、これも60人ですが、その人たちがいろいろ話し合つて交流して来ます。いつも行った時に交流してる南京理工大学の先生と学生たちと、その大学の庭に紫金草、花大根の素敵な場所があるので、そこで交流していきたいと思っています。



伊藤さん

全国の同じ歌を歌う合唱団の宮城と金沢、大阪それから広島から集まって60人になります。2月19日に集まって練習をします。

日中関係も大変だと思いますが、いい交流をして、平和の一翼を担え

ばと思います。

江東保育のうたごえしろうつめくさ

保育現場の現状と課題について報告します。

愛知から始まった「子どもたちにもう一人保育士を」という運動が進められる一方で、保育士不足は依然として深刻です。子ども家庭庁の新たな保育政策では、人口減少を踏まえながらも、公的責任が明確にされないまま予算確保が不十分で、現場や利用者には負担がかかっていることを懸念しています。また、医療的ケア児の受け入れ体制が始まったものの、看護師不足が問題となっており、保育補助者や「二活用」による業務改善で対応するのみで、人員の確保が進んでいません。さらに「子ども誰でも通園制度」が各自治体で実施される中、現場の負担が増し、十分な支援や人員配置が求められます。

公立保育園の保育士の賃金は、中年世代で抑えられたままであり、定年が延長されるものの、60歳を過ぎると賃金が7割

に減る厳しい状況が続いています。その中でも、保育のうたごえ仲間とのつながりが仕事を続ける原動力となっています。



今野さん

全国の保育のうたごえ事務局でLINEグループを運営し、全国53人と情報交換をしながら活動を続けています。9月23日には京都で全国の保育のうたごえ交流会開催を予定しています。

保育の現場が多くの課題を抱えている中でも、保育者や子ども、親たちが楽しく幸せな日々を過ごせるよう、歌を通じて支え合いながら活動を続けていきます。

墨田区保育園

どんぐり

どんぐりは、公立・私立の保育士だけでなく、看護師や栄養士など保育園に関わるすべての人が参加できるサークルとして活動しています。

50周年を迎えるにあた

り、新しい仲間が増え、特に若い世代の参加により活気が生まれました。ぞう列車の練習を通じて、新たなメンバーが音楽を通じて団結する楽しさを実感し、それをうたごえの醍醐味として共有しました。

最近では、30代・40代のメンバーが東部うたごえ協議会の運営委員に参加するなど、職場のうたごえ運動の発展にも貢献しています。うたごえ新聞にも投稿したように、一人の現役メンバーの積極的な呼びかけが奏功し、短期間で大幅に仲間を増やすことができました。



小泉さん

職場のうたごえは継続が難しい環境だが、意欲的な取り組みにより成長しています。

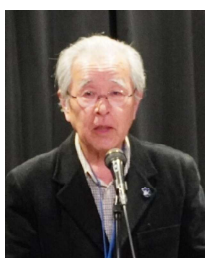
全国的には、事務局体制を拡充しながら次世代への引き継ぎを進めており、オンラインでの定期的なズーム会議を活用し、交通費をかけずに交流を

図っています。また、創作交流会を4年間継続し、これまで約20曲の新しい創作曲を生み出しました。東京のうたごえ常任の人数も増やし、地元・東部・全国レベルで若い世代と共に歩みながら運動を広げていきたい。

合唱団白樺

合唱団白樺は創立75周年を迎えたが、長年指揮・編曲・団長を務めた中山英雄さんが昨年7月に逝去された。葬儀には多くのうたごえ関係者が参列し、故人を偲びました。

今年のうたごえ祭典では佐賀で演奏を行い、その機会に中山先生の故郷・神埼市の墓前で編曲をした「鶴」を合唱団で献昌することができました。



三田さん

彼の娘のアコーディオン奏者の太田智美さんは今回、初めてうたごえ祭典で「地底の歌」の伴奏者として参加しました。祭典

には日本被団協の代表委員の田中重光さんも歌で参加し、団の運営委員長が隣で一緒に歌い交流出来ました。

また、日本被団協の田中熙巳さん(92歳)は埼玉県新座市で開催されたノーベル平和賞講演会に登壇。彼の手記が東京新聞に掲載されたことをきっかけに、家族との縁を感じる出来事がありました。

11月1日、会場の改修工事で長らく演奏会を開けなかったが、改修後初日の公演枠を確保し、約2年半ぶりとなる定期演奏会を新宿文化センター

三多摩教職員合唱団

で開催予定です。日本のうたごえ80周年に向けてということで発言します。

1. 全国教育のうたごえ交流会が三多摩を来年夏、武蔵小金井駅前の宮地楽器大ホール(予定)で全国教育のうたごえ交流会を開催予定です。

メインスローガンは「子どもたちに平和な今と未来を」。1日目は砂川闘争現場のフィードワー

ク、2日目は合唱発表会を実施し、特別ゲストとしてオクサーナ・ステパニツクさんを招く計画です。全国の教育のうたごえ合唱発表会に東京から参加しているのは三多摩教職員だけなので、東京の他の教職員合唱団に参加を呼びかけます。

2. 日本のうたごえ80周年に向けて開催に賛成し、楽しく夢のある企画を提



箱崎さん

案します。

うたごえ祭典に向けた夢の構想として「新東京物語」という合唱組曲の制作・上演を提案します。戦争も核兵器もない持続可能な世界をテーマに、全国の仲間とともに演奏します。

28年に向け楽しく語り合いながら準備を進めたい。3. 創作活動として、被爆終戦80年をテーマにした三部作を作成し、街頭演奏とYouTubeで発信。さらに、うたごえ新聞の拡大に力を入れ、年間31

三多摩青年合唱団

部の拡大を達成。東京の会員700人が1部ずつ拡大すること、さらに広がることを常任員会で追求して欲しいです。

4. 音楽センター再建カンパは納得できれば取り組み、周りにも呼びかけるので、東京のうたごえで方針を決めて欲しい。

三多摩青年合唱団では、2028年度に予定される「うたごえ80周年記念日本のうたごえ祭典」について総会で長時間議論を行い、特別決議に賛成の立場をとることを決定しました。



泉さん(右)と林さん(左)

ただし、祭典の会場や内容についてはゼロスタートから始め、団員の総意を十分に反映させることを

求めます。
賛成の条件と理由
・音楽会の方向性の議論
が必要



議案採決の様子

祭典の会場選びや形式について、事前にアリーナでの大音楽会を決めるのではなく、東京の協議会に所属する各合唱団の総意を反映させる必要があります。開催するならばブロックごとに取り組みをする。三多摩青年合唱団としては、地域ごとの音楽会開催を視野に入れています。

・合唱発表会の文化を育てる必要がある

これまでの全国発表会では「聞き合う」という文化が十分でないと感じており、発表会の魅力向上に向けて改善が必要です。発表会を通じて団体同士の学び合いを促進するべ

きです。

・参加者の高齢化への対応
三多摩青年合唱団の平均年齢は70代前半となっており、将来的な運営の持続可能性が課題です。

郵便合唱団

郵便合唱団は現在56名と少人数ながら、他団体の音楽会を積極的に聞きに行くことで励みとしています。

また、郵便局ならではの創作活動として「郵便料金改訂版ロックンロール」を作曲しました。完成後の披露を目指していたが年齢的にそのリズムに乗



堀江さん

れなくて、まだ歌える状態になっていないです。

1. うたごえ80周年に向けた考え

郵便合唱団では80周年についてまだ全体的な議論が進んでいないが、資料をもとに検討を開始しました。開催会場につい

ては未定であり、企画は会場が決まった後に進めていくことで良いと思います。今後3年間で作曲などを作り、積極的に参加・協力したいです。

2. 音楽センターの赤字問題

全国協議会で決定された赤字補填について、東京として170万円の負担をすることが示されているが、正式な提案が必要と考えます。カンパを募る際は、音楽センターの必要性と今後の運営方針を明確にするべきであり、議論を重ねて組織的に対応すべきです。

三多摩青年合唱団

1. 60周年記念コンサート
の成功と新たな仲間の増加

昨年10月、一年遅れで60周年記念コンサートを開催しました。三多摩青年合唱団の歴史をたどる選曲で好評を得たことで、5名の新入団員を迎えられることができました。新しいメンバーは元気で積極的に活動に関わり、団全体が活気に満ちています。また、演奏会に合

わせて記念誌も発行し、多くの関係者からメッセージを集めた素晴らしい仕上がりとなりました。



竹澤さん

2. 地域に根ざした活動

毎月の国立駅前スタンディングや福島応援オンライン、横田基地前での座り込み、小金井反戦アクションなど、継続的な地域活動を実施。地元での繋がりが広がり、活動への参加や共感が増えたことを喜ばしく感じています。昨年は久しぶりに国立音楽祭に出演し、今年は実行委員会の委員長を引き受けてさらなる貢献を目指しています。

3. 合同演奏会や大規模イベントへの参加

今年は絹の道合唱団との東京カンタートへの出演に始まり、10月には合同演奏会を予定しています。団員のやりたいことを尊重し、それを活動の原動力として楽しみながら取り組んでいきます。

うたごえ新聞読者拡大の取り組みとお願い

東京のうたごえ新聞が危機的状況です。

昨年の総会時にはうたごえ新聞の総部数は1700部の目標に対して1660部近くあり、昨年1年間の皆さんの奮闘により総会時から174部拡大していただきました。にもかかわらず、先日の総会時の新聞の部数は1630部でした。その後も施設に入ったり、亡くなったりで減紙が続き6月現在1617部です。

うたごえ新聞は協議会の機関誌です。サークル・合唱団の団員の皆さんでまだ購読していらっしゃる方には購読してもらえる様に働きかけをお願いします。各団体とも年間に少なくと

も一部拡大を目標にしてください。

東京には加盟の団体が71ありますので、それだけで71部増える計算になります。

また、演奏会やうたう会を開催されるときには『うた新コーナー』を設けていただき、来ていただいた方々にうたごえを知っていただくと共にうたごえ新聞を読んで頂ける様に呼びかけていただきたいと思います。

3年後の80周年東京のうたごえ祭典に向けて、今からひとり一人が新たなつながりを作っていく、うたごえ新拡大に取り組んで頂ける様心からお願い申し上げます。

今年の東京の合唱発表会

東京の合唱発表会 日程・会場

日程：9月20日（土）

一般A・B、女性、オリコン

21日（日）

即場、小編成、交流

会場：板橋文化会館

・各ブロックの合唱発表会は

9月7日（日）までに終わるように

日程調整をお願いします。

出演代表者会議 9/16（火） 会場未定

ブロックの合唱発表会 日程・会場

三多摩 7/5（土）

羽村プリモゆとろぎホール

みなと 7/21（月・祝） 白金の丘学園講堂

新宿 8/24（日） 笹笹区民ホール

三多摩南部 8/30（土）

調布市民会館たづくりくすのきホール

千代田 9/4（木） 角筈区民ホール

東部 9/7（日） カメリアホール

西部 9/7（日） 久我山ホール

南部 9/13（土） 荏原文化センター

北部 9/13（土） 板橋文化会館

中央 日程・会場未定

これからの予定

日本のうたごえ祭典in神戸・ひょうご

東京の合同練習会

7/21（月・祝）10：30～16：30

角筈地域センター 参加費：500円

講師：赤坂有紀さん

講習曲：「新世界」「さくらさくら」
「ふるさと」

11/3（月・祝） 会場未定

サークル代表者会議

7/26（土）13：30～16：30

大久保地域センター3階 会議室A

※1ページからの続き
の構造に大きな影響を与え、一党独占や政権交代の激しさを生んでいます。1994年の政治改革では企業・団体献金の廃止が合意されたものの、実際には実行されず、裏金問題として現在に至るまで尾を引いています。最近の政治資金問題もその延長線上にあると考えられます。

また、20年前のピラ配布事件を通じて、市民の政治的表現の自由の重要性が強調されている。一人一人の市民が自分の声や思いを同じ市民、国民、主権者に伝えていく。これができない社会、政治がおかしい。むしろそれ



当日の参加者の皆さん

が政治の基本であるべき仕組みにしていくべきで、思い、思想、これがちゃんと伝わって、それを実現するような政治の仕組みを、みんなの合意で作り出すことで初めて真つ当なものになる。金やYouTube、SNSやフェイクニュースに左右される現在の選挙や政治のあり方はおかしい。政治は思想や思いを伝え合、合意を形成するものであるべきです。

日本国憲法と自由

日本国憲法は、戦前の明治憲法とは異なり、思想・信条・表現の自由を

無制限に保障している。戦前は「思想犯」という概念が存在し、国家にとって都合の悪い思想は犯罪とされていたが、現在の憲法では思想そのものは犯罪にならない。たとえ宗教的信念を持つていても、それが他人に迷惑をかけない限りは自由に活動できる。オウム真理教のように実際に犯罪行為を行えば処罰されるが、思想自体は処罰の対象ではない。こうした憲法の価値を守り、今後も活かしていくことが重要です。

その足掛かりとして、日本国憲法の存在が重要であり、特に憲法9条や人権条項（表現の自由・

思想良心の自由）が未だに守られている点に注目しています。

現局面に対する三つの視点と提言

・国際問題

（ウクライナ・ガザ）

戦争は絶対にしてはならないという原則に立ち返るべきです。ウクライナでは、ロシアの侵略を明確に「悪」としないと、国際社会の団結が難しい。

ガザでは、イスラエルの軍事力と植民地政策が問題であり、国際社会はこれを止めるべきです。

国連憲章の「主権平等」「領土不可侵」「平和的解決」の精神を今こそ実現すべきです。

・核兵器と軍事同盟

核抑止力や軍事同盟に依存する安全保障は幻想で、平和を妨げています。日本は核廃絶の国際的流れに逆行して、オプザバー参加すらしていません。

特に沖縄の基地問題は軍事同盟の発想に基づいていて、これを変えなければならぬです。

・国内政治と社会保障
維新の会や国民民主党は新自由主義的な政策で支持を得ているが、分断を助長しています。

医療費や保険料の問題では、サービス削減による負担軽減は医療崩壊を招きます。

軍事費を削減し、社会保障に回すべきです。

最後に「うたごえ」の力で人々のつながりを強め、社会を変えていきましょう。